

令和7年度 文教厚生委員会 県外視察の概要

1 参加委員

東条 恭子（委員長）、山西 国朗（副委員長）、大塚 明廣、
元木 章生、井川 龍二、竹内 義了、浪越 憲一、曾根 大志

2 視察日程及び視察箇所

視察日程	視 察 箇 所
10月27日（月）	埼玉県済生会川口総合病院（埼玉県川口市）
10月28日（火）	男女共同参画センター横浜フォーラム（神奈川県横浜市）
	株式会社あおいけあ、株式会社ノビシロ （神奈川県藤沢市）
	鎌倉市立由比ガ浜中学校（神奈川県鎌倉市）
10月29日（水）	川崎市役所（神奈川県川崎市）

3 調査目的及び視察概要

（1）埼玉県済生会川口総合病院（埼玉県川口市）

（調査目的）

公的医療機関である埼玉県済生会川口総合病院は、救急指定医療機関、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院として地域医療を担う急性期型の中核病院である。質の高いがん治療を提供するとともに、地域の医療機関と協力し、がん治療向上に努めており、がん相談支援センター、セカンドオピニオン外来の設置、緩和ケア医療の取組を行っている。

また、看護専門学校を併設し、看護師教育を行うとともに、病院で一番大切なものは職員との考えの下、職員幸福度の向上に力を入れている。

そこで、がん医療や看護人材確保、公的医療機関における経営強化の取組について調査する。

（視察概要）

がん医療や看護人材確保、公的医療機関における経営強化の取組について説明を受けた後、施設内を見学した。



(2) 男女共同参画センター横浜フォーラム（神奈川県横浜市）

(調査目的)

男女共同参画センター横浜フォーラムは、「自立」をキーワードに女性が社会に出るための支援や相談事業を行っており、就業や起業支援、心とからだのセルフケア、女性への暴力防止と被害者支援など多岐にわたって事業を実施している。運営する公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会は、昭和62年の協会設立以来、35年以上にわたる実践の積み重ねの中で築いてきた先駆性や専門性を有している。

そこで、同協会における男女共同参画の取組について調査する。

(視察概要)

男女共同参画の取組について説明を受けた後、施設内を見学した。



(3) 株式会社あおいけあ、株式会社ノビシロ（神奈川県藤沢市）

(調査目的)

小規模多機能型居宅介護事業所を運営する（株）あおいけあでは、高齢者を被介護者ではなく地域資源と捉え、誰もが居場所のある介護福祉を目指して、一人一人の個性を尊重し、自立支援を促すための認知症ケアを行っている。

また、（株）ノビシロが展開する「ノビシロハウス亀井野」は、訪問看護・医療の事務所が併設された多世代交流型アパートである。住人の高齢者と若者が日常的にコミュニケーションをとるなど、独特のシステムで世代を超えた交流がなされ、高齢者の孤独・孤立を防ぐ取組がなされている。

そこで、これら施設における、住み慣れた地域で高齢者が安心して生活できる取組について調査する。

(視察概要)

住み慣れた地域で高齢者が安心して生活できる取組について説明を受けるとともに、施設を見学した。



(4) 鎌倉市立由比ガ浜中学校 (神奈川県鎌倉市)

(調査目的)

学びの多様化学校は、不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成することができる学校であり、本県では令和9年度の開校を目指している。令和7年4月に開校した鎌倉市立由比ガ浜中学校は、自分らしく学び、自分らしく成長できる学校をスクールビジョンとして掲げ、総合的学習など体験型学習に重点を置いた独自のカリキュラムを編成している。

そこで、鎌倉市における学びの多様化学校の設置・運営について調査する。

(視察概要)

学びの多様化学校の設置・運営について説明を受けた後、施設内を見学した。



(5) 川崎市役所 (神奈川県川崎市)

(調査目的)

こども誰でも通園制度は、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず保育所等に通園できる仕組みとして創設され、令和8年4月より全ての市町村において実施される。都道府県は、市町村への本格実施に向けた助言・支援や情報集約を行う必要がある。

川崎市においては、本格実施を見据えた試行的事業を実施した施設数が多く、利用実績が豊富であり、また障がい児受入れ、医療的ケア児受入れにも対応している。

そこで、川崎市におけるこども誰でも通園制度について調査する。

(視察概要)

こども誰でも通園制度について説明を受けた。

